

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		より利用者本人の楽しみが充足できるケアプランとサービス内容の立案に期待する。(具体的な楽しみの明記、それを実現する5W1Hを意識したサービス内容の詳細な支援行動の設定など)	ご利用者の生きがいや楽しみに繋がる目標設定と目標を実現できるサービス内容を明確に表示したケアプランの作成を目指す。	目標設定が課題ではなく、楽しみに繋がる内容とし、担当職員を交え、チームで取り組めるサービス内容を明確にして実行する。	6ヶ月
2		様々な関係者の運営推進会議への参加促進のためにも議事録をいつでも閲覧できるように玄関に備え付けるか、全家族や関係者に送付する等の取り組みに期待する。	運営推進会議の場で家族と意見交換できるような会議を開催できる。	参加家族の確保と家族が発言しやすいテーマを設定する。運営推進会議の内容や意見を家族に伝えるために掲示や送付を行っていく。	2ヶ月
3		職員の知識・スキルアップのために、年間を通じて定期的に応急対応(特に誤嚥・窒息時対応)の実技訓練の実施に期待する。	職員一人一人が、緊急時に判断し対応できるようなスキルを磨くことができる。	緊急時対応別のマニュアルの再確認し、看護師を中心とした実技訓練を実施する。早期の対応、連絡体制をスピーディーに行うことができるようにご利用者様の状態に合わせて常時確認し緊急時に備える。	6ヶ月
4		ホーム理念・行動指針について職員・利用者・家族の目につきやすい場所(例:フロア内、面談室等)に掲示する等の取り組みに期待する。	ホームの理念・行動指針を職員一人一人が意識し、より良いケアを提供することができる。	各ユニットに理念・行動指針を常に閲覧できるよう場所に掲示する。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。